

# 第1章 自然再生事業の対象となる区域及びその内容

## 1-1 全体構想の中での本事業区域の位置づけ

「神於山地区生活環境保全林自然再生事業実施計画」は、平成16年10月21日に作成された「神於山地区自然再生全体構想」を受け、「大阪府泉州農と緑の総合事務所」と「神於山保全くらぶ」が実施者として事業実施する内容を取りまとめたものである。本事業実施計画では、「地域住民やボランティアが維持管理可能な活力ある森林再生」を基本方針として、岸和田市有地を対象に竹林の侵入・拡大等によって荒廃した里山を、パイロット事業として実験的に森林整備するとともに、住民参加等による里山の管理手法やシステムについて実証し、それらの効果を検証し、神於山地区自然再生区域の森林整備・里山再生を進める手法を提案するものとする。

### 【事業実施計画の目的】

1. 「神於山地区自然再生全体構想」では、神於山の課題として、人間による適正な管理がされなくなった竹林が他の植生域まで侵入・拡大し、他の植生を被圧し、枯死に至らしめるようになったことをあげている。
2. 密生した竹林内では、林内の多様な植生が消滅する恐れがあり、様々な生物の生育・生息空間を奪い、本来、里山の有する豊かな生物多様性の低下を招くため、今後10年間で取り組むべき当面の目標として「竹林の適正な整備」による竹林の侵入・拡大防止が必要とされている。
3. 本事業実施計画では、人が山に入り管理できる里山を再生するため、全体構想の課題であり目標でもある竹林の侵入・拡大防止を図るとともに、森林の荒廃状況や整備目標等により森林を類型化して森林整備を実施する。
4. 類型化した森林整備方法については、その効果をモニタリング調査により検証し、再検討や見直しを行い、今後の神於山やその周辺の里山の森林整備に資する。

### 【事業実施計画の対象区域】

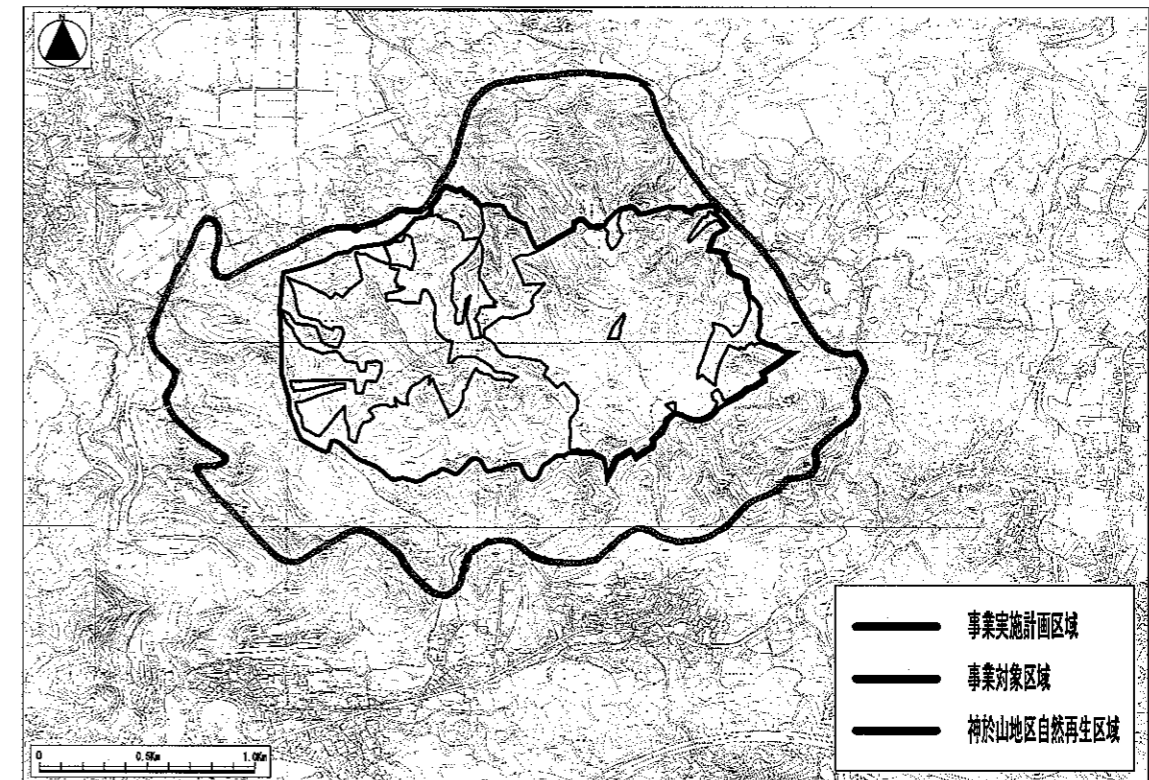
「神於山生活環境保全林自然再生事業実施計画」の対象区域は、大阪府岸和田市の中央部付近に位置する神於山（標高296.4m）を中心とした約180haの「神於山地区自然再生区域」に含まれる、北側斜面の岸和田市の所有地を主とした約37ha（保安林）とする。

#### ● 対象となる区域の定義

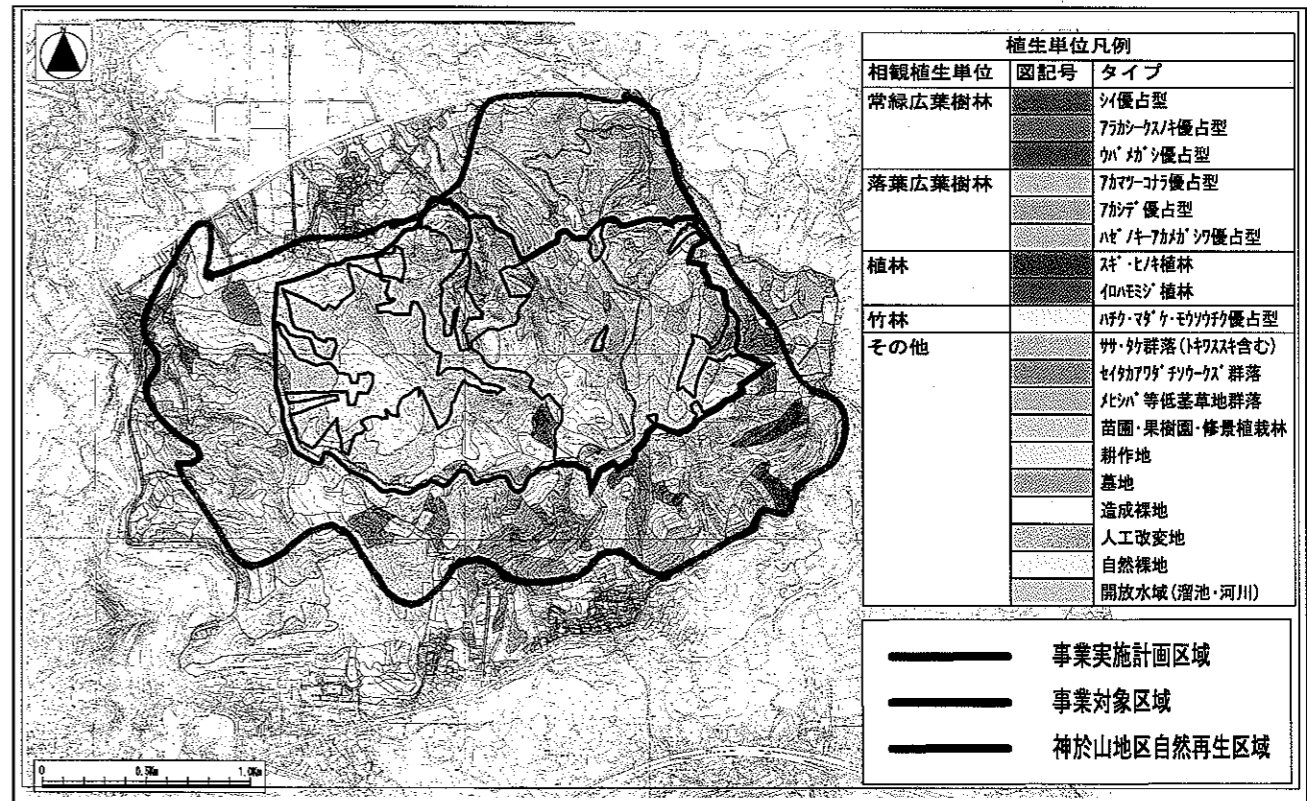
- 事業実施計画区域：生活環境保全林整備事業の対象となる岸和田市所有林
- 事業対象区域：自然条件をもとに、事業実施計画区域を中心に私有地を含めた一定のまとまりのある区域で、植生等の調査対象となる区域（約73ha）
- 神於山地区自然再生区域：神於山地区（私有地含む）全域の将来的な自然再生の対象となる区域

## 1-2 自然再生事業の対象となる区域

【全体構想区域内の事業実施計画区域】



【林相図】



## 第2章 自然環境の概要

### 2-1 事業区域の地形・地質等

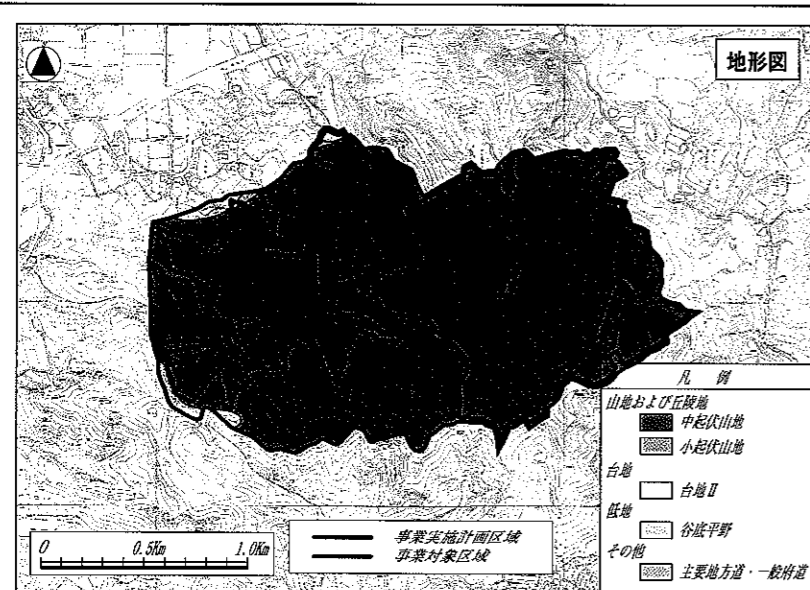
#### ■ 概要

尾根筋は東西に配列し、最高峰や分水嶺は南に偏っており、南側斜面は急峻である。北側斜面は比較的緩やかであり、土砂層の谷が侵食され、その谷を基点として山麓の溜池へ注ぐ水路が設けられて、その流れは溜池を経て、さらに下流の水路から河川へと続いている。

また、神於山の周辺は、気候的に天水が不足し、農作物の主要な生産地一帯は水の浸食が強い大阪層群の上にある。このことから、灌漑対策として、谷の下方をせき止めて水を貯める方法で谷の出口に多くのため池が人工的につくられ、大小のため池が周辺に点在している。

神於山は、花崗岩を基盤とする2～3方向の断層により限られた地壘状の地形であり、その表面は強い風化の進行により黄褐色マサ土を形成している。その厚さは20mから25mに達しており、断層付近ではさらに深度に及んでいる。

神於山の森林土壌は、概ね褐色森林土壌であり、一般的な森林の維持管理によって、落葉・常緑の広葉樹林からなる里山の復元が可能である。

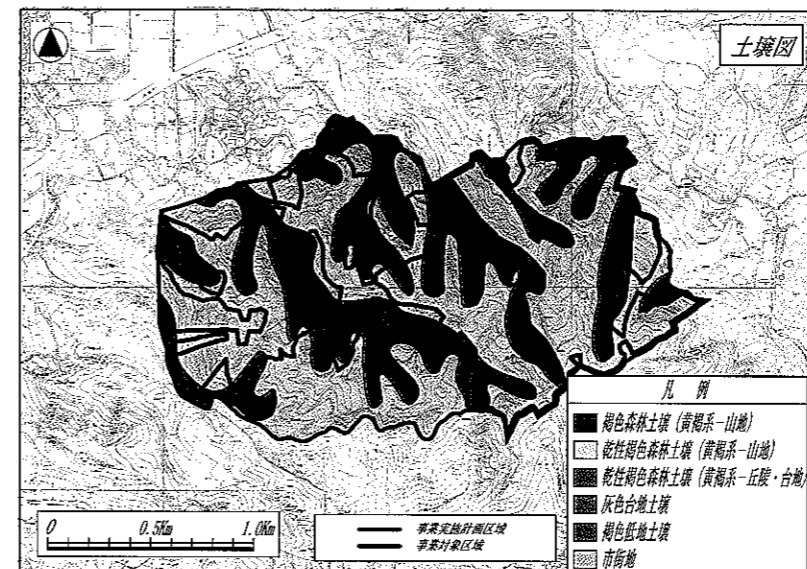


#### 事業対象区域

神於山南面の急斜面は断層崖で、分水嶺が南に偏り、岩質が堅い領家花崗岩類であることなどから、侵食に強く、北面に比べ谷が少ない。  
北面は傾斜が緩やかで、相対的に長く深い谷が多い。  
西面は傾斜が急で、谷が少ない。  
東面は傾斜が急で、特に南側の断層崖に接する付近は急傾斜をなしている。

#### 事業実施計画区域

神於山北面の斜面が区域となり、ほぼ全体が中起伏山地である。

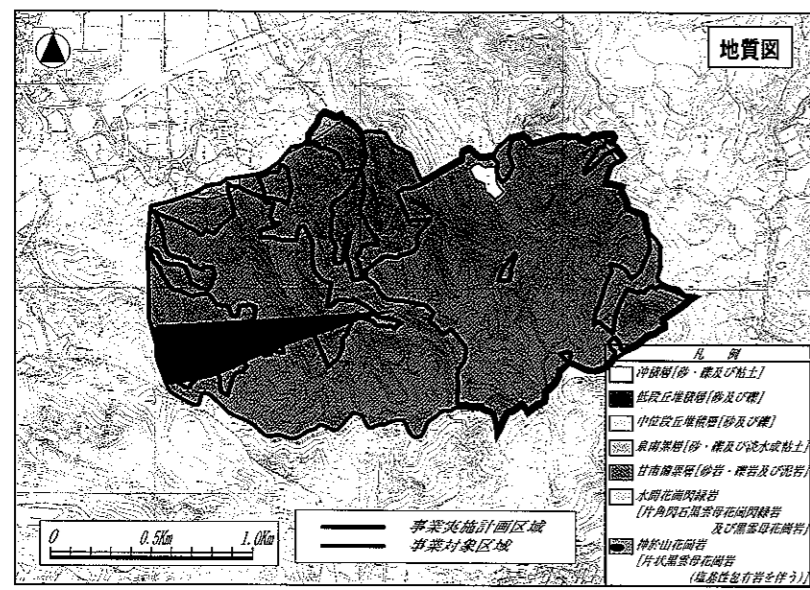


#### 事業対象区域

林地土壌の大部分が褐色森林土壌で、黄褐色系の比率は73%と高く、標準型の褐色森林土壌は、他地域のものに比べて乾性の比率が高い。  
農地土壌では、灰色台地土と黄色土壌が広く分布し、灰色低地土と褐色森林土がこれに続いている。

#### 事業実施計画区域

褐色森林土壌と乾性褐色森林土壌からなっており、分布割合もほぼ同比率と考える。

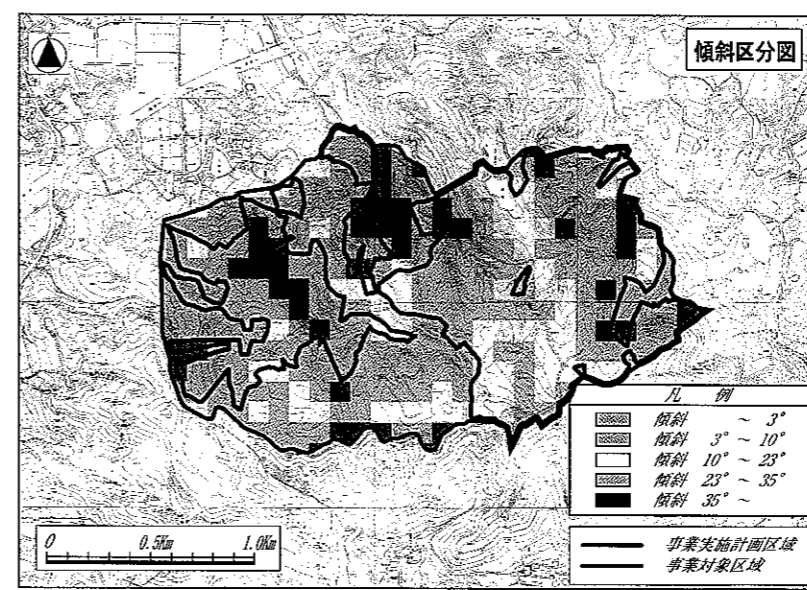


#### 事業対象区域

神於山は、大部分が領家花崗岩からなっている。  
花崗岩は浸食に強いという特徴の反面、風化に弱いという特性もあり、神於山でも風化した花崗岩が広く見られる。

#### 事業実施計画区域

ほぼ全体が、花崗岩より形成されている。



#### 事業対象区域

災害発生が予想される傾斜35°以上のメッシュは、全体の約15%であるが、レクリエーション活動が可能な範囲と思われる10°以下の地域も全体の約15%になっている。

#### 事業実施計画区域

一部35°以上の傾斜地があるが、概ね10°～35°の傾斜地である。